

J H F 理事会議事録

日 時： 2006年7月5日(水) 11:00~14:00

場 所： J H F 事務局会議室 (豊島区巢鴨 3-39-4 東都ビル 2F)

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 下村孝一 議事録署名人： 大沢 豊 松田保子

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 大沢 豊 菊池守男 北野正浩 下村孝一
西ヶ谷一志 松田保子

欠席【理事】城涼一 【監事】對馬和也

(出席理事7名、欠席理事1名。今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 会長挨拶／各理事一言

松田理事： 今迄の決定事項を確認してみました。せっかくの良い提案も実現されなくては勿体ないと思います。私達の任期も一年弱となりましたので、一つ一つ確実に実行できるようにしたいと思います。

北野常任理事： 今週土日、東北三県の HG フライト安全セミナーに、安全性委員板垣さんと一緒に行きます。こういう活動を積極的にやらないといけないと思います。

大沢副会長： 会員システムで、完成間近に色々と問題が出て来ています。それらを解決しながら進めたいと思います。

荒井常任理事： 会費自動引き落とし等いろいろアイデアを出しています。これらを確実に実施することが会員を増やすことにつながります。もっと早く実行に移すべきだと思います。出来ない理由を並べるのではなく、どうやったら早くやれるか皆で方向を見つけてみましょう。

西ヶ谷理事： 今週末群馬県セミナーに、荒井常任理事と2人で講師として行って来ます。その他データベースの事前調査をしています。SMB Cとコンビニの代行収納契約をしていますので、自動引き落としの件もその流れでやっています。

菊池理事： お互い自分のやっていることを文章で報告し、仕事を共有しましょう。会長だけに負担がかかって倒れられたらいけないので、もっとコミュニケーションを図りましょう。

議長(下村会長)： 菊池理事の意見に大賛成です。やっとな改革をしようという空気がお金以外の面でも見えてきました。また各委員会も行動プランを持参して来ていますし、改革のスピードも速まると思います。ともすれば総会後は緩みますので、すぐに7月の理事会を提案させていただきます。

4. 審議事項

第4-1号議案 JHFサーバー及びメールアドレス共有サービスの開始

正会員、委員会、学生フライヤー連盟にURL、E-Mail Addressを無料で提供しようというものの。hangparaのドメインを共有することで、JHFへの帰属意識も高まる。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

次回スクール・クラブ通信で発表することになった。

第4-2号議案 国際技能記章規程についての提案

CIVLでハンググライディング、パラグライディングの記録認定に、バログラフに代わって3DGPSが認められたとの情報がある。このことをJHFが委託されている国際技能記章の規程に反映させる必要があるため、協力委員を募り調査を開始したい。

審議の結果、ハンググライディング、パラグライディング両競技委員会で特別委員会を設置し研究する案に修正された。

修正案について採決し、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4-3号議案 旅費規定運用の見直し

5月12日理事会で審議されたが、細部について不明確の点があるため、菊池理事から別紙のとおり確認を求め提出された。

確認事項

日当：宿泊を要する日当5,000円/日、宿泊を要しない日当：2,000円/日

宿泊費：最大8,000円/泊までを実費清算（領収書添付）

交通費：自家用車の場合、30円/KM、通行料、駐車場代実費精算

挙手により、【賛成6 反対0 棄権0】で内容を確認した。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

5. 協議事項

5-1 補助動力委員会に対するJHFの方針について

事故の多発に加え統括するマイクロライト連盟などの状況を鑑みると、このままではJHFの活動に影響が及び、場合によっては社会的責任問題に発展することが予想される。よって下村会長、西ヶ谷理事が担当理事に加わり対策に当たるべきとの提案。

荒井常任理事： モーターパラに対する苦情が一般のスクールに寄せられる。事故も多いしマナーを教育しなければならない。JHFの会員として、もう少し自主規制を遵守させようと考えています。

下村会長：FLMの松尾さんと会いましたが、特別の話はありませんでした。FLM会員が1,000名以下だとすると、一つの団体としてやっつけける規模ではない。いずれにしても補助動力

委員会の皆さんの意見も良く聞いた上で対応する必要がある。

下山安全性委員長：JHFとしては、FAIの傘下にある以上、クラス(O/R)を守るべきです。またFLMがJHFから分離した過去の経緯を考えるとそう簡単に一緒になれるだろうか。一般に組織になじまないモーター愛好家をまとめるのはなかなか難しい。

西ヶ谷理事：過去の経緯にとらわれることなく、お互いに協調して現場でのモラルの向上を目指すしかないと思います。そういう方向で纏めるなら、ぜひ協力をさせていただきたいと思っています。

議長：今日のところは主たる担当理事を決めるということで宜しいでしょうか。
補助動力委員会は西ヶ谷理事、安全性委員会は菊池理事が主たる担当理事ということで、賛成の方は挙手願います。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

5-2 スクール・クラブ通信について

スクール・クラブ通信のコンテンツについて、各理事から要望を聞いた。
各地で実施される安全セミナーや講習会については出来るだけ記事にすること。提案者自らが原案を作って、直接広報出版部に記事を渡すことを確認した。

5-3 JHF ロゴマークについて

正会員の得票がもっとも多かった2作品が報告された。
話し合いの結果、2作品のデザイン上の修正を松田理事に一任し、修正後のデザインを基に、文書理事会で最終決定することになった。

このことについて、採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

5-4 アクロバット世界選手権の誘致について

舞鶴・神崎フライトエリア同好会から申請されたアクロバット世界選手権開催誘致について協議した。世界選手権開催に当たっては、種々の条件をクリアしなければならないため、同申請書をパラグライディング競技委員会に諮問することになった。
委員会の答申を待って次回理事会で審議することになる。

この処置について採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

5-5 2006年度事業計画の工程表について

これまで審議決定された諸事業について、進捗状況を把握するためのフォローアップ表を作

るべきである。また未実施の事業については、年度内の実現に向けて工程表を作りましょうとの提案。

今日の委員長会議もその一環であり、工程表を作ることは当然のことなので、協議からは外すことになった。

5-6 A級技能証の取り扱いについて

現行のA級技能証の呼称と、カードデザインを一新すべしとの提案。
同時にA級技能証申請料1000円をスクールにインセンティブとして提供し、新規入会者を促進することによって、B級以上のフライヤー増につなげようというもの。

A証だけでなく、B証・C証も含めたプランを作成し、改めて次回理事会に提案してもらうことになった。

5-7 フライヤー会費の口座振替制度導入について

口座振替導入については、理事会全員の合意が得られていることを確認した。

導入の目的：

- ① 更新忘れの防止 2004年に発生した死亡事故で、更新忘れが4件あった。
(死亡事故14件中、会員8、更新忘れ4、非会員2)
- ② 集金事務費の削減

しかしながら、口座振替を選択する会員と一般の直接振り込みの会員に格差をつけるかどうかで意見の相違があった。

- ① 何らかの格差が必要である案
例 口座振替を選択する会員 3500円 / 選択しない会員 4500円
口座振替を選択する会員 3200円 / 選択しない会員 3800円
理由：集金費用が少ない/格差がないと口座振替を選択しない
- ② 格差はつけるべきでない
理由：集金費用の割安になる分を値下げすることは良いが、値上げと受け取られることは避けるべきで。選択はあくまで会員の判断に任せるべき。

協議の結果、正会員へアンケートを実施した上で、検討することになった。

6. 報告事項

6-1 予算収支：進捗管理表

6-2 6月フライヤー会員実績・技能証実績

6-1、6-2については、下村会長からそれぞれ報告し了承された。

6-3 飛行規制の緊急説明会

菊池理事から、6月22日14:00～、日本航空会館本館で開催された、外務省・防衛庁・国土交通省共同の飛行規制の説明会について報告された。

規制地域は青森県つがる市車力、規制期間は2006年6月26日から解除されるまで。目的は北朝鮮の弾道ミサイルから自国・同盟国・友好国を防衛するため。詳細別紙参照。

6-4 兵庫県のじぎく国体について

兵庫県フライヤー連盟のじぎく国体実行委員会（村上委員長）からJPA 只野会長に宛てた文書。パラグライダーが広くスカイスポーツとして市民権を得る為に、JPA、JHFにとらわれず、国体パラグライダー大会を成功させましようとのメッセージ。
同実行委員会の立場を確認するとともに、下村会長から村上委員長に感謝の意が表された。

6-5 兵庫県における搜索事例とJPAへの対応について（JAAへの報告）

菊池理事から別紙のとおり報告し承された。正会員へも報告することにした。

6-6 安全性委員会活動報告（6/27同委員会議事録）

菊池理事から報告した。星マークの箇所がそれぞれの委員が担当する解決策で、7月末日までに研究成果を報告することになっている。

次回理事会を8月23日（水）に開催することを決めて閉会した。

（この後東都スカイクラブにて、理事・常設委員長・部長合同会議を開催）

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名する。

議 長

(下村 孝一)

署名人

(大沢 豊)

署名人

(松田 保子)

議事録作成：桜井加代子